

東日本大震災で街頭募金

夢追塾同窓会は3月11日に発生した東日本大震災の被災者のための街頭募金を実施し、集まった総額約74万円を関係団体に寄託しました。

「我々はテレビを観ているだけでいいのでしょうか?」。大地震発生から3日後の14日午前11時過ぎ同窓会役員に緊急メールが送信されました。発信人は常光孝一副会長。会員による街頭募金活動を呼びかける“檄文”でした。次々と賛同のメールが飛び交いすぐに実施が決定、参加者を募る一方、



小倉北区魚町での街頭募金

駅や警察の許可手続きなど準備が進み3月19日(土)と20日(日)に実施することになりました。赤ジャンパー姿で参加したのは2日間合計で70人(延べ87人)。小倉駅、魚町商店街、黒崎駅、黒崎駅前商店街、戸畑駅の5カ所で夢追塾同窓会ののぼりを立て、手作りの募金箱で募金を呼びかけました。2日間の募金額合計は743,415円。中には一万円札、五千円札がそれぞれ7枚入っていました。戸畑駅分は北九州市社会福祉協議会、その他の分は市の保健福祉局を通じて被災地に寄付しました。参加した会員からは「市民の皆さんの優しさがうれしかった」「いい経験になった」と感動の声が聞かれました。

1期生卒塾後の軌跡

2006年3月に卒塾した仲間は62名でした。卒塾直後は「何かをやろう! やりたい!」という気持ちが高く、個人で地域貢献活動を着々と開始する人、集団活動を通して模索する人、様々でしたが、1期生同期会の合同の取り組みとしては、赤村の古民家ツアー、2期生の方々と連携した八幡東区中央町商店街の活性化支援、黒崎よさこい祭り支援、夢追いサロンの運営などが挙げられます。直近の話題は、古民家を借り上げて赤村塾という生涯現役の持続性を高めようとするNPO活動が新たに始まったことです。

個人活動では、工場の設備管理・技術コンサルタント、市民後見人としての社会貢献、座禅道場の運営を通じた文化活動、行政書士事務所開設、大学院進学で専門性を高める人、中学生・高校生を対象とした陸上競技コーチ兼指導者、投資カウンセラー、空手道場の館長として若者への心と技の伝承、社会保険労務士事務所開設、結婚相談所の開設など多岐にわたっています。

(平成23年度1期生会長 舟谷文男)



八幡東区中央町商店街の活性化支援(餅つきと猪鍋)

同窓会懇親会で4期がんばる

昨年の秋、第4期の会合に久々に顔を出した。用件は11/27に開催される同窓会懇親会での出し物の練習である。4期の出し物は、「ラインダンス」に「ラジオ体操+ひげダンス」、それに「青い山脈」にあわせた「炭坑節」。

練習に参加するにあたって、実は私の中で葛藤があった。はるか昔の5歳のころ、保育園から中学校の運動会に参加したお遊戯で、身につけてもらったピンクのチリ紙の花が、それはそれは恥ずかしくて、一人ビリビリ破ったという体験があったからだ。

しかし、4期会長の指導によるラインダンスを見たとき、私は魅了された。それは美しいベネチアンマスク（目だけを隠すマスク）が準備されていたから。これをつけると別人になれるような気がした。そしてそうだった。青いボンボンをつける手には力がみなぎり、振り上げる足は頭より高く上がり、ハイという歓声は高らかに、そして満面の笑顔を観客に向けて。（チョットオオゲサ）

本番では、各期から渾身の思いを込めた出し物が競った。4



期生も心から楽しんだ。私ももちろん楽しめた。ベネチアンマスクよ、ありがとう。

さて、心にこんなものを持つと便利です。皆さんのベネチアンマスクは何でしょうか？

（4期生 田辺晃）

大震災翌日に5期生が卒塾

夢追塾5期生の卒塾式が3月12日、来賓や多くの夢追塾OBが見守る中、ウェルとばたで行われました。東日本大震災の翌日であり、一時は挙行も危ぶまれましたが、事務局の奔走により無事開催できました。式に先立ち全員で1分間の黙とうを捧げ、震災で亡くなられた方々のご冥福を祈りました。

3期生の田中眞弓さんの進行で、卒塾生42名の一人ひとりの名前が読み上げられ、山地さん、棕本さん、中井さん、八尋さんが各コースを代表して北橋名誉塾長から修了証書を受け取りました。続いて北橋名誉塾長より「人は夢を持っているかぎり青春である」とはなむけの言葉が贈られ、卒塾生を代表して渡邊俊孝さんが感謝と今後の決意とを力強く述べてそれに応えました。

被災地への思いを胸に、それぞれの夢をかみしめての心に残る卒塾式となりました。

（2期生 下迫信子）



厳粛な面持ちの5期卒塾生

トピックス

★同窓会若松支部開設

（4期生 香月英彦）

平成22年6月若松と周辺地域の卒塾生有志18人が地域の活性化の課題を考え実践する会として発足。二島のモール付近の清掃活動を手始めに地域おこしの団体との交流などを進めている。現在は今秋の第3回生涯現役夢追塾ウォーキング若松編の準備に全力投球中。

★3期「三喜会」

（3期生 永吉和幸）

3期コーチングコース主体の会。23年度から坂本博子さんが新会長に就任。毎月第2木曜夜、穴生ドームでのウォーキングを中心に精力的に活動することになった。5月29日は福森明人さんのホテル講座を予定。新会員募集中。

★第3回夢追いコンサート

（2期生 内尾俊之）

7月14日（木）18時から小倉北区「ムーブ」で夢追いコンサート（実行委員長 2期生久保幸枝・共催夢追塾同窓会）を開催。1期生の川東さん率いる「ニュースカイラーク・ジャズオーケストラ」によるジャズ中心に我々年代の誰もが知っている曲も組み込んだ楽しい音楽会。参加費1,000円。皆様の参加とご協力をお願いします。

★「ほのぼのネットワーク」

（4期生 江崎弘子）

4期生の松井敬さんが名づけ親の4期生の会。なかなか全員集合ができないので同名の新聞を発行。近況や報告などを載せて一体感に役立っている。元気の良さが取り得の4期生。多くの仲間との交流を図っている。

★「6・3・4会」

（3期生 臼井俊二）

2011年2月に立ち上げた。60歳からの人生設計が目的。4月2日の第3回の会議には21人が参加。会員はFP・税理士・一級建築士・宅建主任者・土地家屋調査士・行政書士・大手企業取締役・大学講師・ケアマネジャー・会社経営者・投資家など多彩で、幅広く専門的な勉強をしている。

★個展のお礼

（3期生 厚地瑞枝）

昨年11/23～28、厚地鶴友「楽しい書の世界」展を北九州市立美術館で開催、大小約70作品を展示しました。同窓会の皆様にはお手伝い、ご観覧に多数いらして頂き感謝・感謝とともに夢追塾を誇りに感じました。大変ありがとうございました。

編集後記

夢追塾同窓会の活動と卒塾生の近況をお知らせしながら交流の輪を広げようと私たちがお届けした「同窓会会報」はいかがでしたか？ 次号からは23年度編集委員会に引き継ぎます。一年間ありがとうございました。

（川東信一＝1期、南京子＝2期、永吉和幸、定平育子、貞光文江＝3期、高和美＝4期）